

Less is More

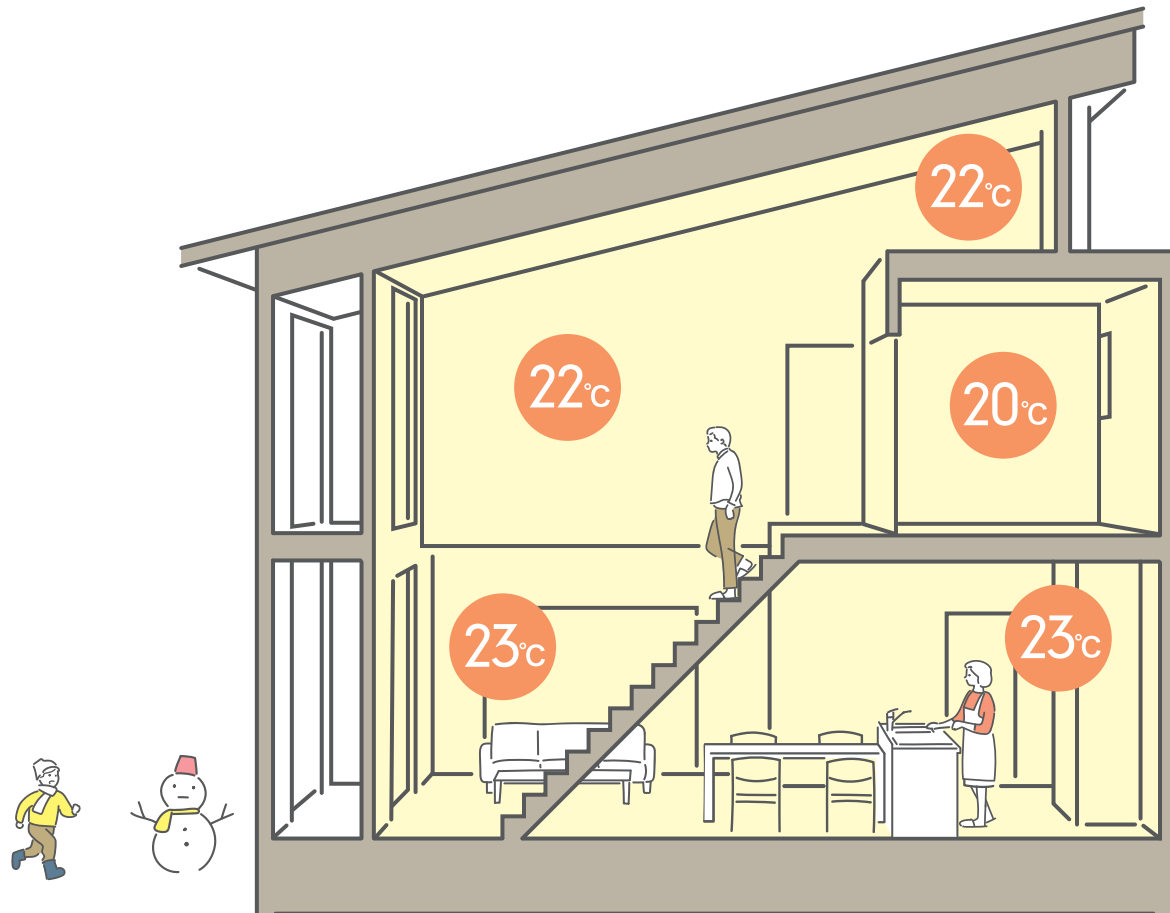
1988年の創業以来、弊社はおお客様の満足を第一に考え、『快適』をモットーとする「街づくり」と「住まいづくり」に邁進し、数多くの『人が喜ぶ空間』を築き上げました。今後も快適性はもちろん、耐震性や耐久性、デザイン性をさらに配慮し、ハイテク素材やエコ素材など多彩な種類がある建材にもこだわり、幅広い知識と技術で「お客様の想い」をしっかりと形に現していきます。

Contents

- 03 温熱環境
- 05 空気環境
- 06 パッシブ設計
- 07 耐震・耐性
- 09 メンテナンススケジュール
- 11 家づくりの流れ
- 13 制作事例
- 17 敷島標準性能
- 18 会社概要

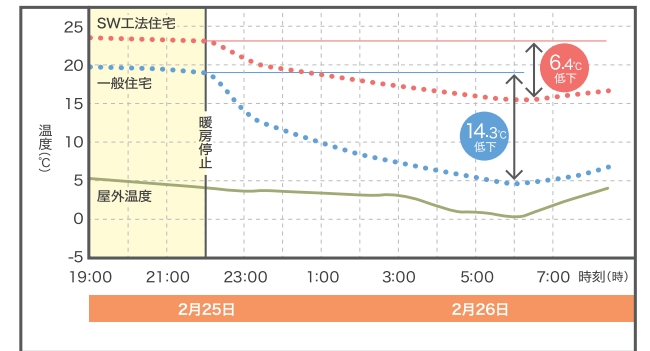
高い断熱性で快適な暮らしを実現。

冬のリビング、エアコンで快適な室内も、廊下やトイレは寒く感じるのではないのでしょうか。この温度差は、暮らしの快適性を損ねるだけでなく、ご家族の健康にも影響を及ぼします。そんな、家の中の温度差を少なくするには、住まいの気密・断熱性能を高めることが大切なのです。



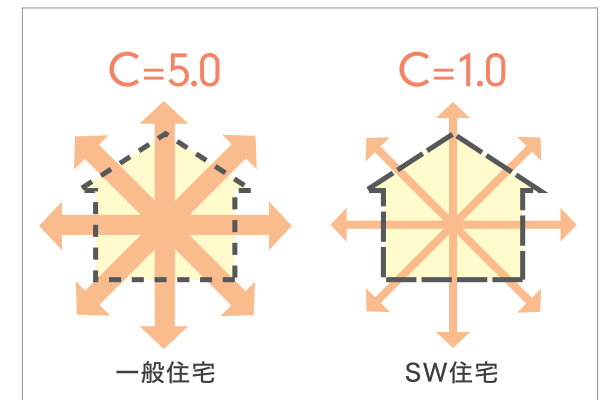
冬場でも目覚めの良い朝を迎えられる。

地域によって違いはありますが、冬場になると夜中の冷え込みが厳しく、就寝前に20°C程度あったリビングの室温が翌朝には10°Cを大きく下回ることがあります。このように暖房を止めてしまうと室温がどんどん下がってしまうのは、住まいの断熱性が低いことが原因です。高い断熱性を実現させることで、たとえ就寝前に暖房を止めても室温が下がりにくく、翌朝も15°C程度という暖かさをキープ。朝の身支度の際、着替えで寒い思いをすることもなく、快適に過ごすことができます。

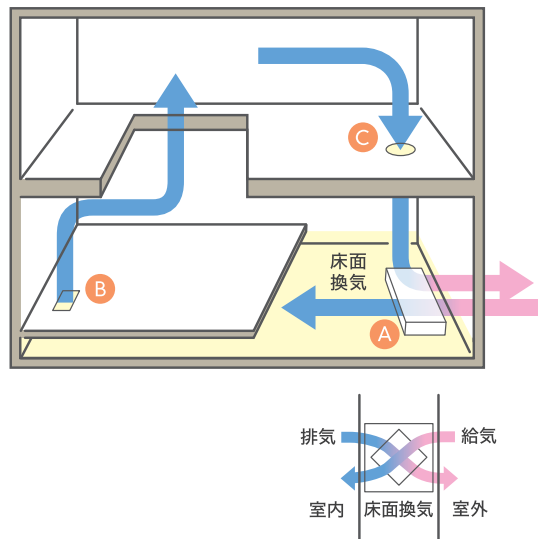


家の気密性を高めて暮らし心地の良さを体感。

住まいには見えない隙間がさまざまな箇所に存在しています。隙間が多いと、いくら暖房や冷房を行っても漏れてしまい、快適な室内環境を保つことができません。従って暮らし心地を高めるためには、住まいの気密性は重要なポイントになります。気密性能はC値(相当隙間面積)として数値化されており、数値が小さいほど隙間が少なく気密性に優れていることを示します。



人も家も呼吸する新しい「空気の流れ」
 全てのお部屋の温度差・湿度差が少ない暮らし



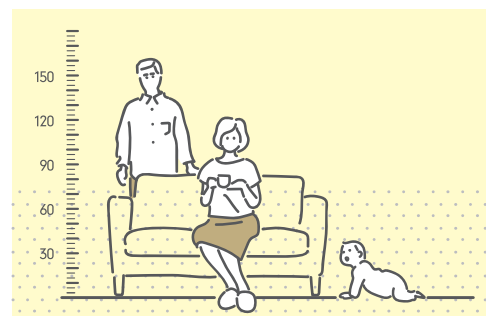
A.ダクトレスで給気された新鮮な空気が床下に充滿
 B.床面に設置された給気口から室内に給気
 C.床面の排気口から排気し、床下を通り排気
 人にも家にも、より健康的な換気を。

嬉しい7つのポイント

- point 01 床面排気で快適生活&楽々メンテ
- point 02 床下設置で静音設計
- point 03 外に空ける通気口は2カ所だけ
- point 04 自動で風量調節
- point 05 スイッチパネルが分かりやすい
- point 06 二層構造のフィルターで新鮮空気
- point 07 床下まで換気(ダクトレス給気)

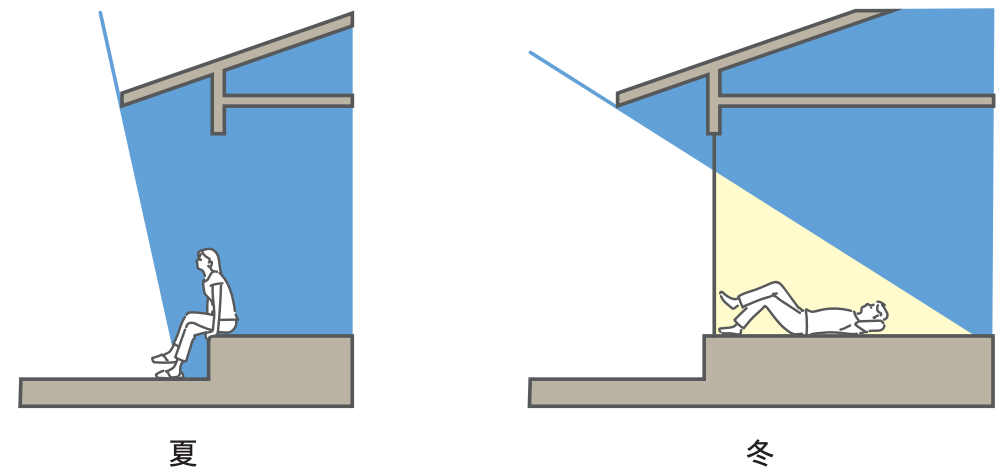
ホコリや花粉
 さらには臭気を
 まきあげずに除去

床面に溜まりやすいホコリ・花粉・臭気。
 これまでの壁や天井からの換気は、
 人が呼吸をしている空間まで巻き上げていました。
 換気フィルターの吸気を床面に設置しているため、
 巻き上げずに吸気することができます。

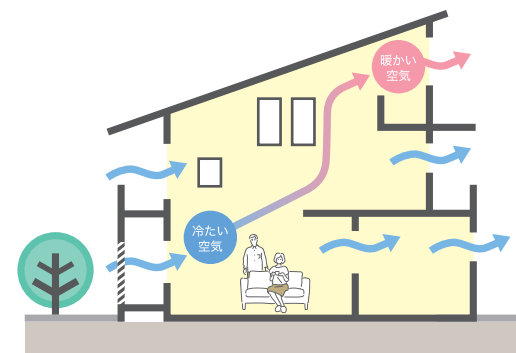


軒がもつ日照調節効果で
 心地よい暮らしを実現。

軒は、日差しの高い夏は直射日光をカットし、日の位置が低い冬は弱い光を招き入れます。



春や秋など季節の良い時期は
 自然の風を取り入れて心地よく。



一年を通して計画換気システムの使用を基本としてい
 ますが、春や秋など季節のよい時期は、自然の風を取り
 入れて心地よく暮らすことをおすすめしています。
 自然の風を取り入れるには、周辺の地形や住環境を
 把握し、海風、川風、山から吹き降ろす風、周辺の建物の
 配置を考慮し、通風計画を立てることが大切です。

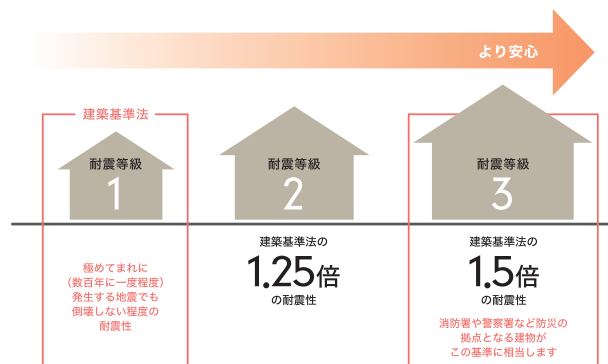
災害の備え

地震・台風・竜巻など 自然災害から家族を守る。

南海トラフ地震や首都直下型地震など、巨大地震の発生が予測される近年、自然災害は地震ばかりではなく、大型台風や竜巻も頻発しています。ご家族や大切な財産を守るためには、住まいづくりにおける災害への備えをさまざまな角度から行うことが求められているのです。

耐震等級3の設計で 大規模な地震に備える。

建築基準法では、極めてまれに発生する地震でも倒壊しない程度の耐震性を等級1としています。しかし、専門家の間では等級1では不十分との意見もあり、スーパーウォールの家では、最高等級となる耐震等級3の設計を推奨し、より安全性の高い住まいが実現できます。



地震の揺れを最小限に抑える 制震仕様パネルもご用意しています。

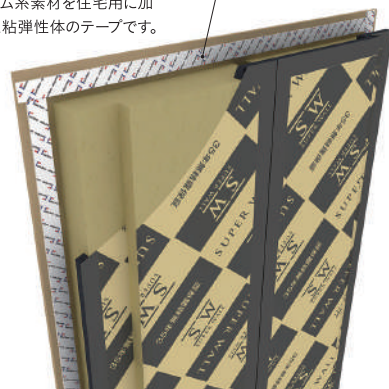
高耐震の住まいとして、さまざまな地震から暮らしの安心を守り続けてきたスーパーウォールの家。そのさらなる安心・安全のために、揺れを抑える機能を取り入れた制震仕様パネルを開発。大きな地震や余震からご家族や大切な財産をしっかりと守ります。

- くり返しの地震に強い
- 建物の変形量を最大約1/2に低減*
- 家がまるごと制震装置に

*プランや地震の揺れによって、変形量の低減は異なります。

制震テープ

制震テープは、高層ビル用の制震装置に使用されているブチルゴム系素材を住宅用に加工した粘弾性体のテープです。



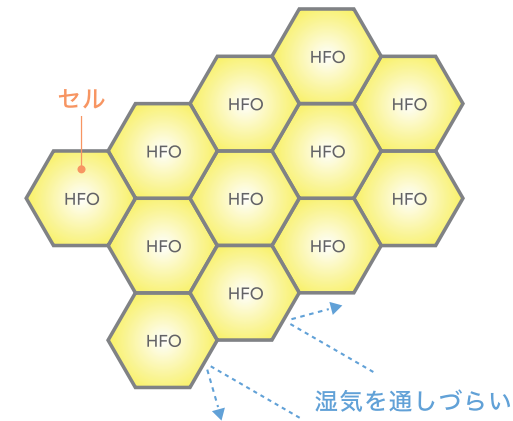
耐久性

最高水準の性能を持つ断熱材が 壁の内部結露を抑える。

スーパーウォールの家で使用している断熱材は、高性能な硬質ウレタンフォームです。その特徴は湿気を通しにくく、グラスウール比およそ2倍^{※1}の断熱性能。壁の内部結露を抑えることができるため住まいの耐久性向上に効果を発揮します。また、瑕疵保証では保証されない断熱材内部の結露による劣化を35年間保証^{※2}します。

※1 グラスウール(24K)との断熱性能比較

※2 保証対象となる断熱材は、壁パネル、小屋パネル、屋根パネルに使用している硬質ウレタンフォームとなります。



全棟高気密住宅

高気密住宅の目安となるC値2.0を超える、C値0.5を基準とし、全棟において高気密住宅を目指しています。そして住宅の構造体と開口部(サッシ・ドア)の工事が完了した段階で、気密測定を実施し、性能値を確認。お客様にも性能報告書にてご確認いただいております。



30年 メンテナンス スケジュール



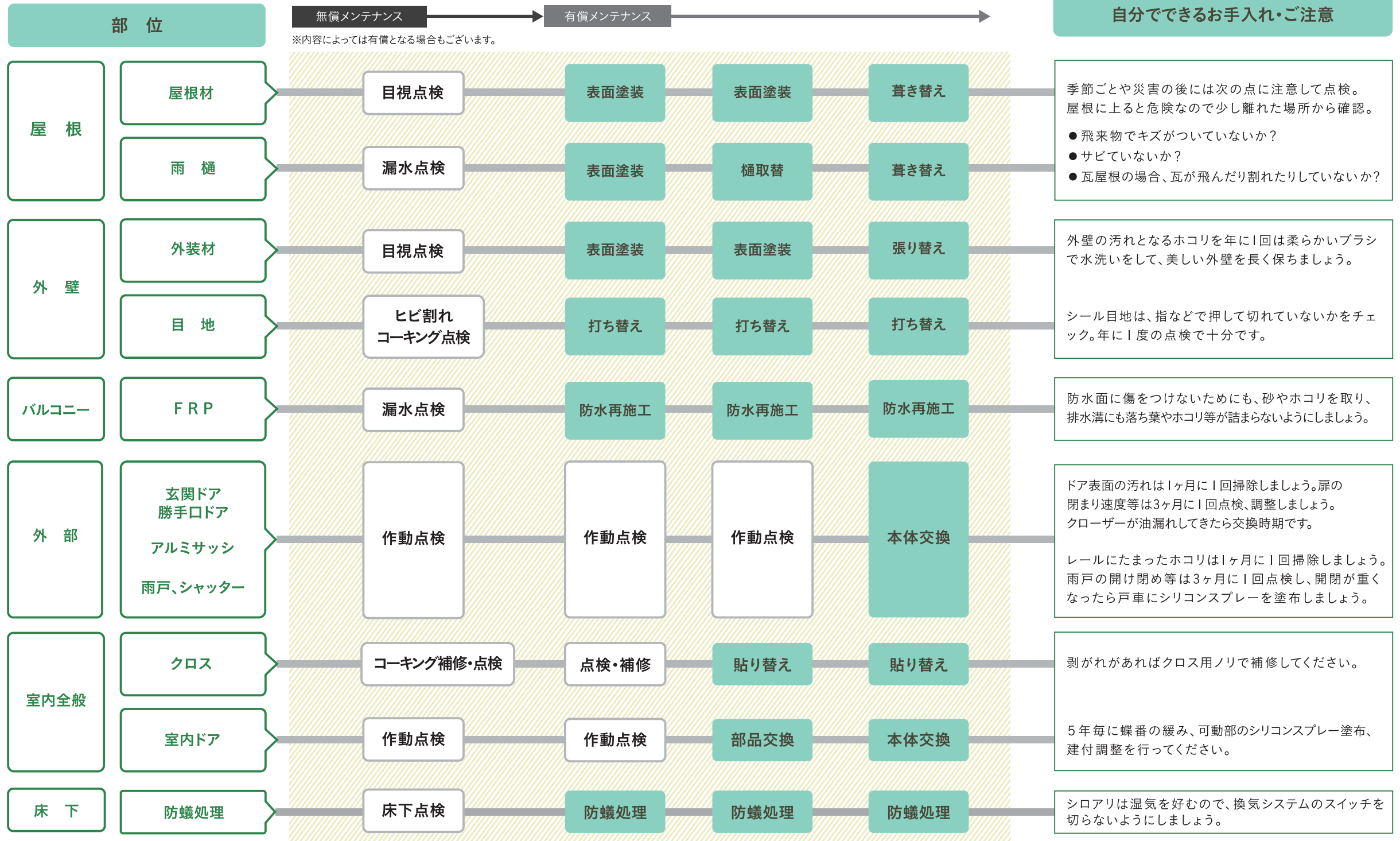
【敷島建設自社無料点検】

3ヶ月・6ヶ月・1年・3年・5年点検

10年目

20年目

30年目



※屋根・外壁・ベランダ・床は瑕疵保証の対象となります。

家づくりの流れ

注文住宅を建てたいと思った時に

家づくりにかかる期間、またどのように

進んでいくのかを知ることはとても重要です。

1

各種イベント・見学会

- 敷島建設の紹介
- 完成見学会
- 各種イベントへの参加



2

ヒアリング

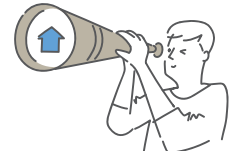
- ヒアリングとご要望の検討
- ホームオーナー様へのご案内
- ご予算の調整・ライフプラン



3

ご相談

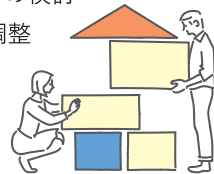
- ご予算の確認
- 入居希望時期の確認
- 土地探し



4

プランご提案

- 最良プランのプレゼン
- 間取りや素材などの検討
- 見積りや仕様の調整



5

資金計画

- 借入の確認
- ローンの商品選択
- 返済計画について



6

ご契約

- 最終見積りの確認
- 建築工事請負契約
- 図面作成・各種申請業務



ここからは有料です

7

地盤調査

- 着工前の地盤調査
- 地鎮祭



8

工事着工

- 棟上げ・上棟式
- 現場の確認



9

完成・お引渡し

- 社内検査
- 施主様と建物の最終確認
- 設備の取扱説明



10

アフターサービス

- 定期点検



Point

● アフターフォロー

敷島建設では、大切な住まいのアフターメンテナンスを35年間、実施致します。

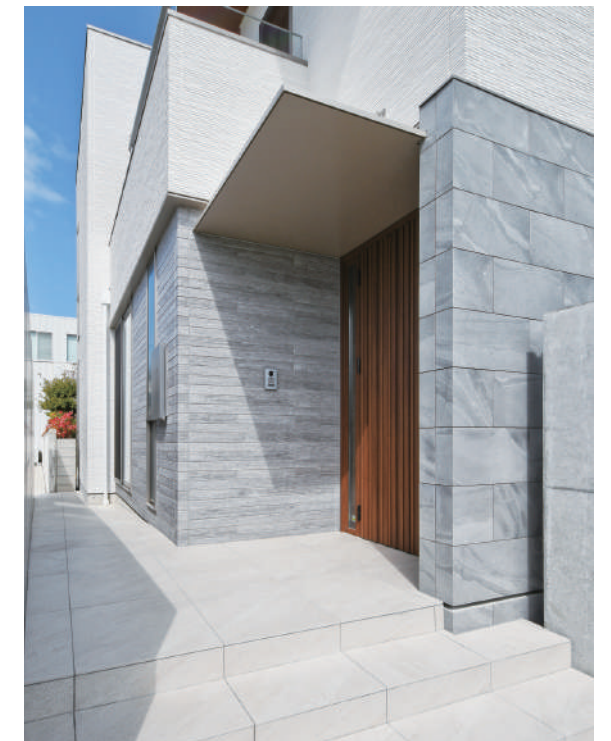
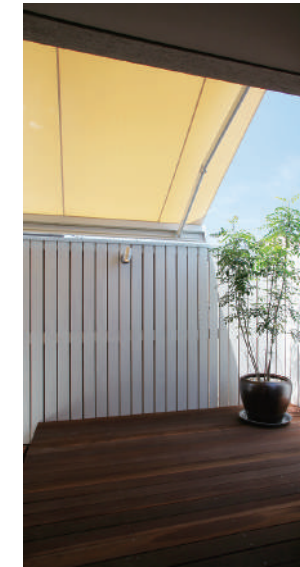
3ヶ月→6ヶ月→1年→3年

5年→10年→20年→30年

WORKS

EXTERIOR

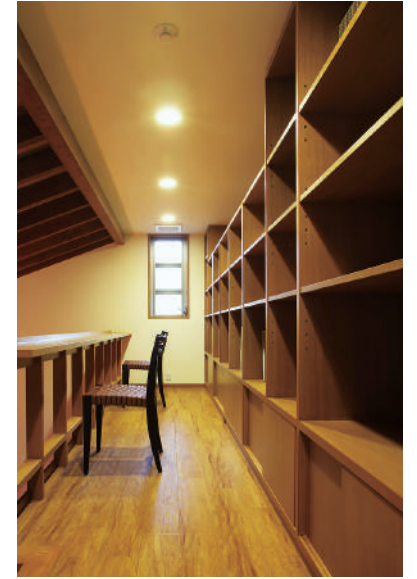
毎日をのびやかに過ごせる
機能性も備えたデザイン住宅。



WORKS

INTERIOR

つながっている心地よさ。
食べて、話して、楽しむ家。



強み

シキシマを選ぶ 3つの大きなメリット

シキシマの家は

大型物件の経験

バックアップ体制

安定の家へのこだわり

を兼ね備えた

理想の家です。

POINT

01

数字で表せる安心なお家

Shikishima standard performance

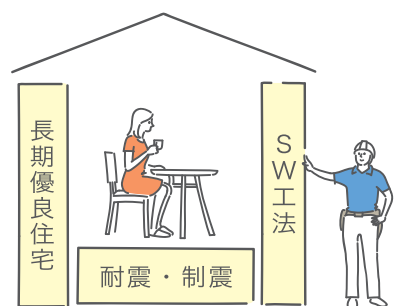


POINT

02

後悔しない、させない安全な家

Shikishima standard performance



POINT

03

快適さを提供できる家

Shikishima standard performance

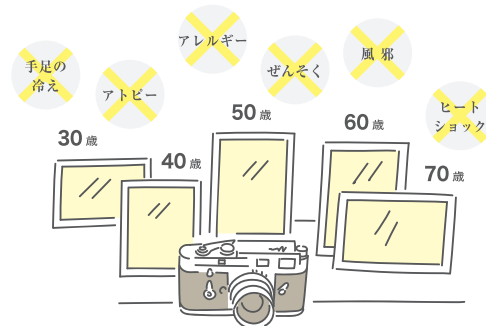


POINT

04

健康で、感動が生まれる家

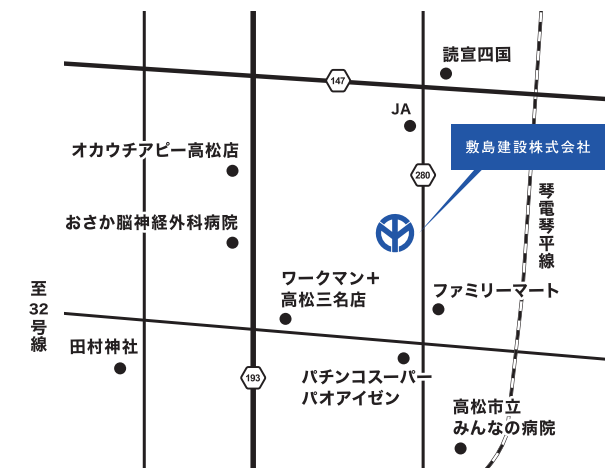
Shikishima standard performance

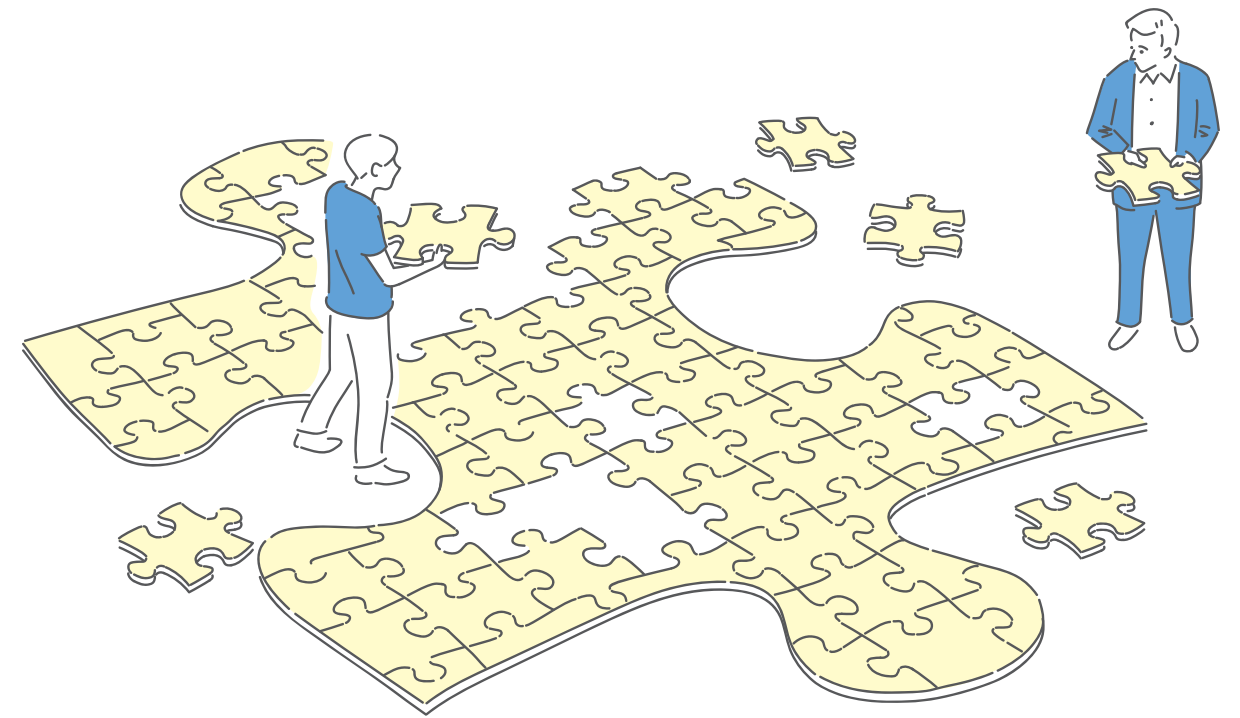


会社概要

—OUTLINE—

会社名	敷島建設株式会社
代表者	代表取締役 高木英治
所在地	高松市太田上町12番地1
設立	昭和63年2月
資本金	3,000万円
関連会社	高松設計株式会社(資本金1,000万円) 不動産取引業務
取引銀行	中国銀行高松南支店 百十四銀行高松支店 三井住友銀行高松支店
ISO登録	品質マネジメントシステム登録 ISO9001:2015 登録番号:14QR・1729 環境マネジメントシステム登録 ISO14001:2015 登録番号:16ER・969
事業内容	建築土木工事の設計施工/建築工事業 大工工事業、土工工事業、石工事業、屋根工事業、塗装工事業、内装仕上げ工事業、鋼構造物工事業、タイル・れんが工事業、防水工事業、左官工事業、建具工事業 鉄筋工事業、板金工事業、解体工事業





Less is More

Corporate Book SHIKISHIMA

 敷島建設株式会社

香川県高松市太田上町12番地1

TEL.087-888-7371

FAX.087-888-7372

<http://shikishima-build.co.jp>

Homepage



Instagram



Facebook

